

京都工芸繊維大学大学院
工芸科学研究科博士後期課程

令和8年度一般入試（第1期）
令和7年度社会人特別入試（秋入学）

建築学専攻

学力検査
筆記試験・外国語（英語）

令和7年8月22日（金） 10:30～12:00（90分）

1. 問題用紙は本紙を含めて3枚です。
2. 解答用紙は横罫線のある用紙が3枚、下書き用紙は1枚あります。
3. 解答用紙3枚全てに受験番号を明記して下さい。
4. 各解答用紙には、解答する問題番号、設問番号を必ず記入してから解答するようにして下さい。
5. 辞書等の持ち込みは認めません。
6. 試験時間終了まで退室は認めません。
7. 問題用紙と下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って結構です。

【1】(60点)

以下の英文を読んで、各設問に回答しなさい。

著作権の関係で掲載しておりません

著作権の関係で掲載しておりません

出典：Sigfried Giedion, *Space, Time and Architecture -the growth of a new tradition*, p5-7

- (i) (ギリシャ神話でミダス王が触れるものを金に変えたことから) 金運が良い、すべてうまくいく、の意。
- (ii) 「絵画の真っ只中に入り込んでいる」の意。
- (iii) 「世の混乱から超越して」の意。

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問2 二重下線部(2)において、なぜ”Unfortunately”なのか。この語の前後関係がわかるように日本語で説明しなさい。

【2】(40点)

あなたが大学院博士後期課程で研究しようとする研究内容について、英語で説明しなさい(300～500語程度)。

出題意図

【1】デザイン・建築に関わる英文を題材に、英語の語彙力、英文読解力、日本語への翻訳能力を問う問題である。

【2】博士後期課程における研究計画を英語で述べる問題である。英作文能力を問うとともに、自らの研究内容を英語で説明する論理力を確認する。